

強靱性・持続可能性ファシリティ（RSF）

強靱性・持続可能性ファシリティ（RSF）は、気候変動とパンデミックへの備えに関連するリスクといった、将来の国際収支の安定性に対するリスクを軽減するための改革を実施している国に対し、低コストの長期融資を提供します。

[PDF をダウンロード](#)

目的

(i)気候変動とパンデミックへの備えに関連するマクロ的に重要なリスクを軽減するための政策改革を支援し、(ii)そのような長期的な構造的課題に起因するリスクを軽減するための政策スペースと財政バッファを拡大することにより、経済の強靱性と持続可能性を強化する長期融資です。

適格性

PRGT 適格国であるすべての[低所得国](#)、一人当たり GNI が 2021 年の [IDA オペレーショナル・カットオフ値](#)の 25 倍未満のすべての小国（人口 150 万人未満）、一人当たり GNI が 2021 年の [IDA オペレーショナル・カットオフ値](#)の 10 倍未満のすべての中所得国が利用できます。

RSF の利用を希望する適格国は以下の条件を満たさなければなりません。

- ・気候変動とパンデミックへの備えに関連する長期構造的課題に対処する質の高い政策改革を実施。

- ・高次クレジット・トランシェ級の政策による [IMF 支援プログラム](#)（UCT プログラム）の平行実施。これには融資または非融資プログラムがあり、[SBA](#)、[EFF](#)、[PLL](#)、[FCL](#)、[SCF](#)、[ECF](#)、[PCI](#)、[PSI](#)のいずれかの取極の下で実施されます。緊急融資制度（[RFI](#)、[RCF](#)）、[SMP](#)、[SLL](#) は対象外です。平行実施する UCT プログラムの残り期間が 18 か月以上なければなりません。

- ・債務が持続可能な水準であり、十分な返済能力がある。

コンディショナリティ

改革の進捗とリンクしています。各措置が RSF の各段階の融資提供と結びついています。改革措置は、単一の政策措置で構成されることもあれば、密接な関係のある複数の措置により構成される単一の改革の場合もあります。複数の措置が含まれる場合は、付随する資金にアクセスする前に、すべての措置を実施しなければなりません。詳細は[コンディショナリティ](#)をご覧ください

審査手順

審査は、改革措置の完了予定日と付随する融資の利用可能日が過ぎた段階で、UCT プログラムの審査と並行して実施します。

条件

期間

並行して実施される UCT プログラムの残りの期間と一致する見込みです。最低 18 か月。

利用可能額が全額提供された時点で満了となります。並行して実施される UCT プログラムの終了・キャンセル・満了時には、自動的に終了します。

返済期間

満期 20 年、猶予期間 10 年半。猶予期間中は元本の返済はありません。

金利

借入国は低金利の利息と 3 か月 SDR レートに対する若干のマージンを支払います。階層的な金利構造でグループごとに融資条件が異なり、低所得国はより譲許的な条件で融資を受けられます

- ・ グループ A（ブレンダーと見なされない PRGT 適格国）：55 ベーシスポイント・マージン+サービス料なし

		<ul style="list-style-type: none"> グループ B（一人当たり GNI が IDA オペレーショナル・カットオフ値 の 10 倍未満で、PRGT 利用資格を持たずブレンダーと見なされる小国）：75 ベーシスポイント・マージン+25 ベーシスポイントのサービス料 グループ C（すべての RST 適格国）：95 ベーシスポイント・マージン+50 ベーシスポイントのサービス料
	利用枠	<p>累計利用限度は クォータ の 150% または 10 憶 SDR のいずれか低い方。</p> <p>利用限度の判断はまず、クォータ の 75% を基準値とする。</p>

その他の融資制度

IMF の融資について、RSF 以外の融資制度については、ファクトシートをご覧ください。

[拡大クレジットファシリティ](#) (ECF)

[拡大信用供与措置](#) (EFF)

[フレキシブル・クレジットライン](#) (FCL)

[予防的流動性枠](#) (PLL)

[ラピッド・クレジット・ファシリティ](#) (RCF)

[ラピッド・ファイナンスング・インストルメント](#) (RFI)

短期流動性枠 (SLL)

スタンバイ取極 (SBA)

スタンバイ・クレジット・ファシリティ (SCF)